② 作品（口語訳）の変容

≪例１≫

はじめの直訳

本当にどう思うのであろう。我が身一つの為に、親兄弟と、片時もたち離れがたく、ほどにつけて、思う家を離れ、こうして暮わびしく思い、暮らしている事であろう。と、お思いになると、ひどくせつなくて、「こんなに思い流人でいるありさまを、心細いと思っているだろう。」と、お思いになれば、昼は何やかやとたわぶれ言をおっしゃって気を紛らわ

グループの口語訳 ↓

源氏は、ほんとに、この人たちは、どう思っていることであろう。自分一人の為に、親兄弟と、また片時もたち離れがたく、その身のほどほどにつけて、思っているであろうその家を離れて、こうしてみんなわびしい暮らしをしていることだよ。と思いになると、ひどくせつなくて、「自分が、こんなに、うちしおれているありさまを、この人たちは心細いと思っているだろう。」とお思いになるので、昼

各自の口語訳 ↓

そこで源氏は思っただけだ。

ほんとに、この人たちは、どう思っているのかな。だって、自分一人のために、親兄弟から離れて、それも、自分も離れたくなかった家を離れて、こうやってみんなで、およよと、さびしい暮らしをしてる人だよ。

ああ、せつない、この思い。

自分がこんなにしょげてる姿をみて、この人たちは心細い人じゃないかしら……。

≪例２≫

はじめの直訳

本当にどのように今ごろは考えているだろうか。私一人のために、親・兄弟姉妹とほんのしばらくの間も別れがたく月日にかこつけながらも、なつかしい家と別れてこのように迷い合われると、お思いになると、悲しくて、たいそうこのように思い沈んでいる様子を、細く考えているだろうとお思いになると、昼間はあれこれと冗談をお「しゃ」って気をまぎ

グループの口語訳 ↓

本当にどのように今ごろは考えているだろうか。私一人のために、親・兄弟姉妹もあって離れがたい故郷に別れて漂泊の人に彼らはなっているのであると思うと、私は悲しくてたいそうこのように思い沈んでいる様子は、彼らを心細がらせることであろうと源氏は思って、昼間は仕えの者達といっしょに冗談をお「しゃ」って気をまぎらし、することがなく

各自の口語訳 ↓

本当にどのように考えているだろうか。私一人のために仕えの者たちをそれぞれの親兄弟や、恋人・妻子たちから引き離し、離れがたい故郷とも別れさせて、こんなところへ漂泊させてしまった。それを思うと彼らにすまない気がする。彼らが頼っている自分が沈んでいては心細がらせることになる。と気をとり直すのだった。昼間は彼らと冗談を言い合って気分転換しようとした。することがなく

※ 中段の波線部は，変容の見られる部分

テストの結果，意識の変容等――（省略）

③ 結果の考察

ア．テストの結果より

古語の意味や，古典文法は，苦手としていることがわかる。全体として，事前より事後が伸びており，把握率が87％なので，良好な結果といえる。

イ．口語訳の変容（左側参照）

ウ．意識の変容

波及効果としてのグループ内の助け合い学習があり，学習意欲の向上や均質化が見られた。

エ．授業の感想より

次の文は，一連の授業が「たいへん良かった」と思っている生徒が書いたものである。

> 前回までの授業より，やはり今回やった授業の方が，良かったと思います。１時間ごとに決められた事をやり，その時間内で終わらなかった時は，家でもやりました。グループでやるのも，なかなかだと思います。でも，グループで分担してやるよりも，個人的に各自でやった方が，やりやすかったです。先生の言っていることが理解できずに，かんちがいしてやってしまった時もありましたが，先生が一生懸命授業を進めようとしている気持ちに，私はこたえることができたと思います。

(3) 結論

① テストの結果や口語訳，授業の感想などから，仮説は有効であったと判断することができる。特にグループ内における話し合いの効果は十分であった。

② 古典文法への抵抗は，かなり大きい。

4．反省と問題点

(1) １，２年の適切な時期に，易しい教材を用いて実施すればより良い効果が期待できる。

(2) 「時間的にゆとりのある計画」という点に，もっと意を用いるべきである。